きみの春花
［きみの春花］
有馬 嵐
Kimi no Sumire
Presented by Arashi Arima
Kimi no Sumire
DARIA COMICS

CONTENTS

きみの春花（すみれ）

第1話	5
第2話	45
第3話	73
第4話	99
第5話	125
第6話	145
番外編①　3話のあと	175
番外編②　最終話のあと	176
番外編③　安藤という男	177
あとがき	179

それが
渦中の人だと
ひと目で分かった
第1話

彼がマドンナだ
第1話

2週間前——

今日から
転校してきた
君野純恋(きみのすみれ)くんだ
学校のことなど
色々教えて
やってくれ

な、
どこから
来たの？
！
福岡(ふくおか)
えっと…
小山田(おやまだ)！
よろしく
よろしくね
前の学校の
制服じゃ
ないんだ？

結構前から転校が
分かってたから
事前に準備
できたんだ
一度学校に
下見にも来たよ
へぇ
じゃあさ
マドンナの
噂は聞いた？
マドンナ？
曰く
この男子校には
〝マドンナ〟が居る
それはそれは
美しく、清らかで
孤高の存在なのだ

と、

この話題になると
皆一様に高揚した様子
で話していた

…って話を
聞いて
二週間経ったな

そういえば
未だ会わず

じゃー

共学と雰囲気が違って
やっていけるか不安
だったけど

ぱたん

今のところ
平和で良かった

……

……あれ…

小山田に
待っててもらえば
よかった～!!

音楽室
どっちだっけ
～～～～～～!?

ばた

ばた

ばた

わ

綺麗…

そっか…

あの人が…

わ〜〜〜〜〜〜〜〜
?!?!
あれって
相手は
先生だよね…
どきばく
恋愛は
自由だよ…
自由だけど…
先生まで
〜〜〜〜〜〜〜〜!?
男子校って。
男子校って。
きーみのっ
いーち
いーち
いちにーいち

今日はこっちから帰るんだ？
あっ本屋寄りたくて…
部活精が出るねー
精…
おじいちゃんみたいなこと言うな
えっ
そうかな?!
日曜の練習試合見に行くよ
がんばってね
おー
サンキュ
じゃな
いつもの帰り道は音楽室の近くだから通りづらくて
とは言えず嘘をついてしまった…
悪いことしちゃった…
ーッ
ー…
?
なんだろ
ひょこ
わ
どうしよう喧嘩かな…
たじ…
…あれ…？

あの人って…
おい
聞いてんのか
……
じっ
一人で喧嘩も
売れねえのかよ
……ッ
えらそうに
しやがって…

ガバッ
……ッ
……っ…

がばっ
つったぁ〜〜〜〜〜ッッ
んだお前
わ〜〜っっ
だって殴ろうとしてたから
がっ
ぐら
ぐら
関係ないだろ
え
っ
はぁ…
避けろ一年
ひゅっ
どッ。。

大丈夫か
……はい
じい
先輩強いね
お前は弱いな
おぼえてろ～
ほんとに言うんだアレ
でっけえ傷二つもついてんじゃん
(1)
(2)
こっちは先輩のせいだよ
避けろって言ったろ
あんなの普通避けられないと思う…
むぅ…
詫びにジュース奢ってやるよ

何飲む
炭酸で
お願いします
ん
開けて
やろうか
ん
そこまで
非力じゃない
から
しゅん
あれってさ、
カツアゲ？
お
ですか？
ちょっと前に
俺に告白
してきた奴
とその仲間
告…！
ドキ
ドキ
そういうのって
本当にあるんだ…

そっか…
先生と付き合ってるもんね
は？

あ――…
未遂だよ未遂

ごめんなさい
この間見ちゃって…保健室で…その…
誰にも言いませんので…！

俺の顔が美しいのは分かるけど
好きでもない奴とキスなんかするかよ
美しいのは自覚されてらっしゃって…
まな

立場のある奴は弱いよな
〝生徒に手を出していいんですかぁ〟って揺さぶるだけであっさり金くれんだぜ
ぇっ
それって恐喝……

戦利品
ごぼっ
げほ
恐喝の共犯にされてしまった…
噂のマドンナは
まるで清らかとはいえなかった
なるべく近付かないようにしよう…
と思ったのに…
ざわ
ざわ

なんだか…
ざわ
注目されてませんか…
ざわ
俺が人と居るのが珍しいんだろ
特別 愛想を振りまく訳でもないのに
みつけた 昼飯 行くぞ
ずる
ずるる
た…たす…け…
ざわ…
この人の周りは賑(にぎ)やかだ
居るだけで空気がおいしいもん…
傷のことなら別にいいのに…
おそらく恐喝で手に入れたお金
治るまでは毎日ジュース奢ってやるよ
ほら今日の分
…
でおごられたジュースを断れずのんでいる
悪いと思うなら喧嘩やめなよ
て、下さい
……

あれ…？
やり返すのは悪いこと？
…だってその…
先輩は綺麗だから傷がついたら大変だよ
好都合だよ
俺は俺の顔が嫌いだし
しまった
…！
多分これは
先輩にとって嫌な話題だ——
…ごめんなさい

何に対して
……分かりません
分からないのに謝られても
先輩にどんな理由があるのかは知らないし
人を傷つけることに同意もできません
でも
俺は多分先輩を傷つけることを言いました
ごめんなさい
……
だから
……名前…

え？
お前の名前
君野です
先輩は？
東城（とうじょう）
東城先輩
やば
次移動だ
！
俺も
戻るか

明日も来いよ
君野
てててて
なんだか
思ってたよりとっつきやすい人なのかも
ガララ
きたきたきた
君野
お前マドンナといつ仲良くなったんだよ
わっ
おおっ…
おお
みんな移動教室だよ…
移動してられっか！
えー…
俺の周りも賑やかになった…

ちょい
ちょい
君野

せ……
先輩…

あの…
たばっ、煙草…
膝枕…た、
たば…

ちょっと体
休めたかったところに
通りかかった
からさ
わぁん
そういうことを
聞きたいんじゃ
なくて…っ
全然清らか
じゃない!!

あー
あのウワサ
訂正せず
無言貫いてたら
勝手に独り歩き
してさ
なんだっけ
〝美しく清らかで
孤高〟だっけか
笑うよな
スハー
セーカクワル…
どき…
なんだか
絵画みたい…
ふう…

じゃなくて
ぱっ
体に悪いです！
膝枕はしててよ
のびー
えー…
授業始まっちゃったし…
一時間だけですよ…
ん
授業終わったら起こして
すぅ
もう…
喧嘩に煙草にサボりなんて
不良の三拍子みたいな素行の悪さ…
かしゃん

まつ毛
長いな…
指の先まで
綺麗…
何時間でも
見れちゃうや…
そよ…
ぱっ
と…
ぱっちり

ぎゃっ
近いっ
ばっ
……何やってんだ
なんでもないです…
むく
君野
またな
それから
一時間見惚れてしまった…

お昼は屋上
食べ終わったら膝枕
ただし煙草は吸わない
一日が二日二日が一週間になり
毎日の習慣になった
……
スパ
ピク

結構喋るし
よく笑う

不良が出る
ドラマが好きで

お昼は毎日
オレンジジュース

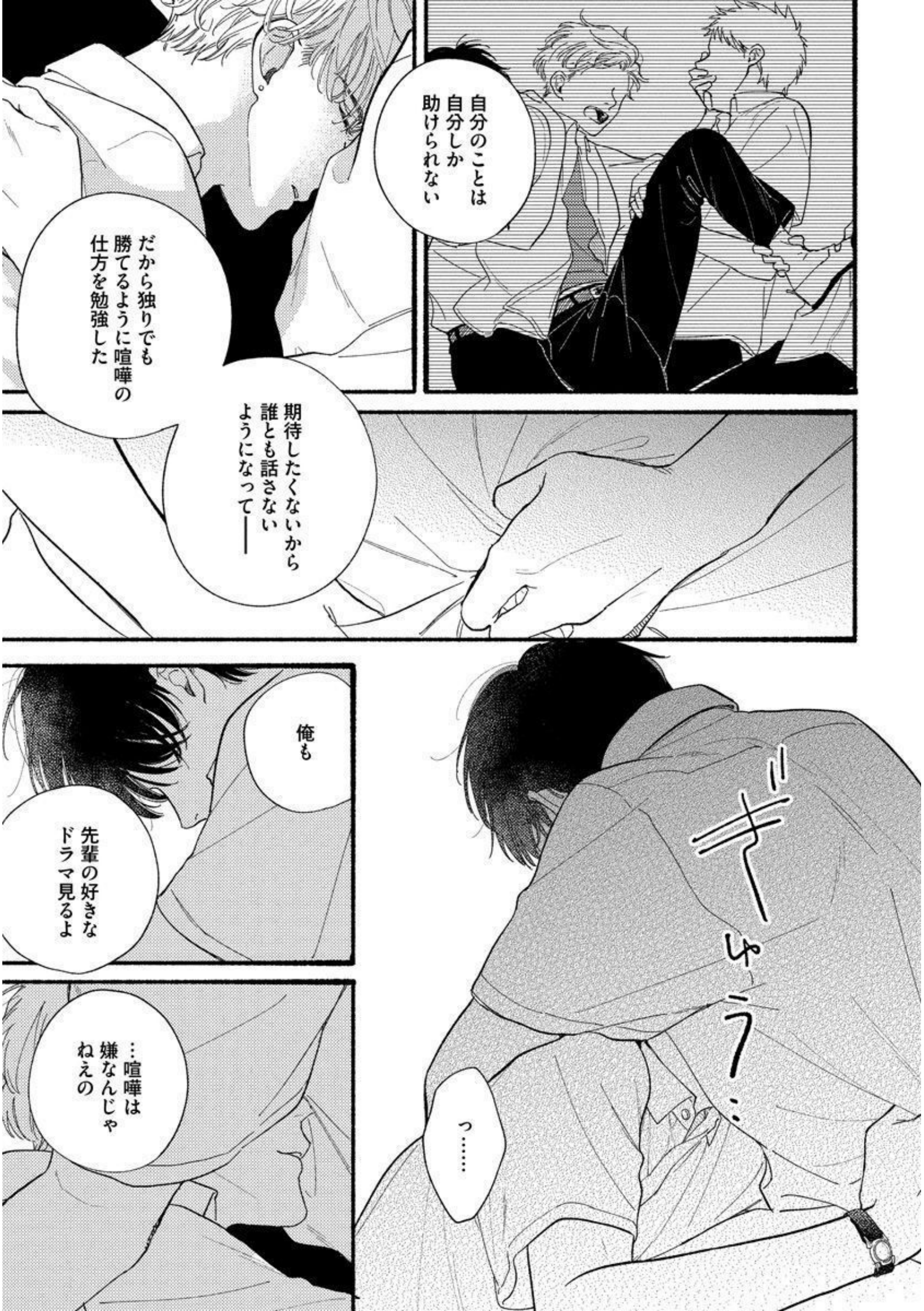
こういう子供みたいな顔
皆は知らないんだ…
結構 悪い顔(こっち)の先輩も好きかも…
お昼ご飯だ～♪
てっ
てっ
てっ
とっ
ガチャ
せんぱーい
今日お弁当に唐揚げたくさん入れてもらったから
ひとつ――…

どうしたの
それ
昨日は
なかったよね
別に
別にって…
膝枕
え
膝枕
してよ

先輩ってさ
喧嘩どこで覚えたの
……ドラマ
ズッ
あのいつも見てるやつ？
見よう見まねでやってみたらそこそこできた
見よう見まねって…
喧嘩ばっかしてたら敵増やしちゃうよ…
……

自己防衛
ずるずる
引き摺られるのも
面倒だろ
だから
告白してきた奴は
強めに断ったり
手を出してきたら
脅したり
自業自得だよ
そうしてたら
恨まれることも
多くなった
……
ごめんなさい
……なにが
俺…また
何も知らずに…

さゅ…
する
ぴっ
昔さ
中学の頃だよ
仲がいいと思ってた
友達三人に
囲まれたんだ
まだ人は
沢山いる
時間だった
直前まで
人の声も
聞こえてた
けど声をあげても
誰も様子を見に
なんて来なかった


自分のことは
自分しか
助けられない
だから独りでも
勝てるように喧嘩の
仕方を勉強した
期待したくないから
誰とも話さない
ようになって——
キュッ…
っ……
俺も
先輩の好きな
ドラマ見るよ
…喧嘩は
嫌なんじゃ
ねえの

しないに
越したことは
ないよ…
怖いし…
じゃあなんで
もし先輩が
傷つけられた
時は
一緒に
たたかえるでしょ
……
ぽっ
初めて
会った時さ
お前は味方して
くれただろ
する
力がどんなに
弱くても
それだけで
嬉しかったよ
……っ

こういうことされると
ドキドキしちゃうんだもん
でも俺も…
その中学の友達と一緒かもよ
どこが
…ドキドキしてたんだ？
した
皆が知らない先輩のことを知ってるんだぞって優越感もあった

でもそれは謝りたくない…
……いいよ謝らなくて

!!!!!!!????!?
な…
な…!!
ちゅ
ちゅ
ま待って
待って
ん?
あ…?
あの
あの…
ぱく
ぱく

男も女も嫌いだよ
けどお前はいい
俺…
えっ
ええ
でも俺男…
あ…え?!
お前がいい
…ッッな…
い…いつから…
なんて殺し文句…
こいつ俺に落ちねえかなってあからさまにモーションかけてんのに
お前全然気付かねんだもん
モ……!?
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
はは
かわい
?!?!

男同士で膝枕なんてするか
そんな前から…!?
この学校にはマドンナが居る
なあ
もっかいキスしていい？
……
それはそれは美しく、
お前下の名前は？
すみれ…
どんな漢字？
純情に恋…で純恋…
清らかで、孤高
純恋
かしゃん
ゼク

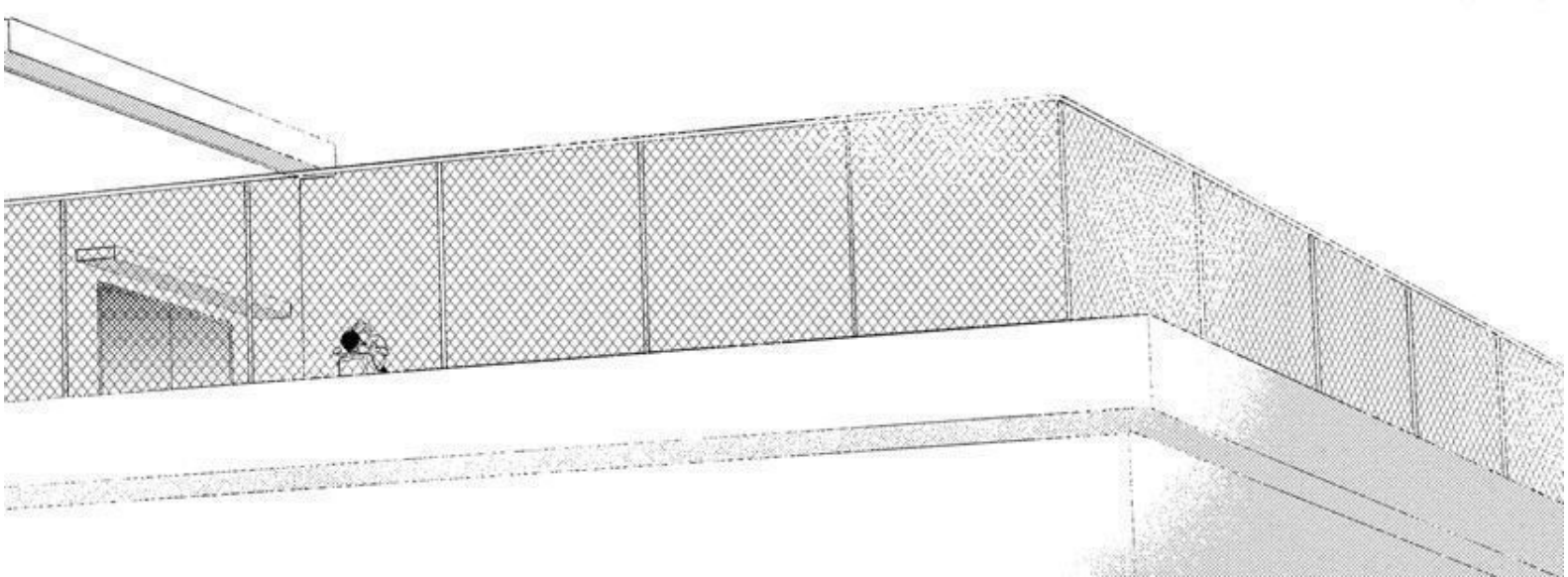
いい名前
きっと白だな
白？
白のスミレの
花言葉
調べてみな
お前に
ぴったり
先輩って…
？

その瞳に捕まれば

誰も逃れられない

メデューサみたい…

はぁ

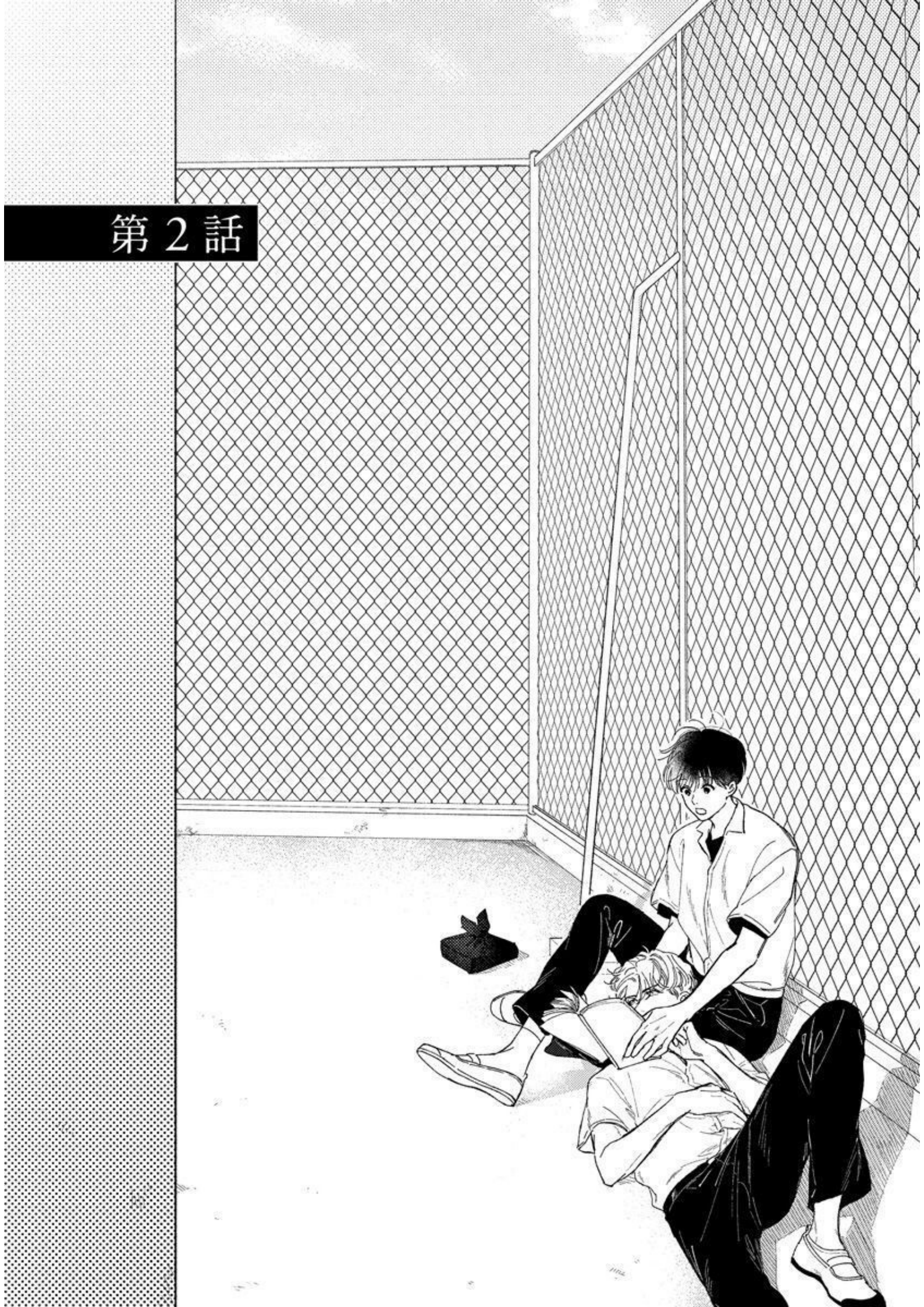


第2話

よっ
ひゃッ
先輩…！
はは
変な声
飯食おうぜ
うわっ
しゃ
しゃ
も

昨日
先輩とキスをした
ほら
変な声にもなるよ…
もう…

第2話



と噂される
学園のマドンナは

どうやら俺のことが
気に入っている、
らしい

会いに
来るのすっごく
緊張したのに…
先輩は
ドキドキして
ないのかな

「美しく」
「清らかで」
「孤高」

その割には
普通だ…

めずらしいですね
いつも4限から屋上に居るのに
今日は授業出てたんだ
出てないけど？
ええ
じゃあなにしてたんですか？
コレ
どさっ
買ってきた
お前いつも昼足りなそうだからさ
育ち盛り
バレてた…
言っておくけどこれはちゃんとバイトした金
恐喝で得た金じゃねえから
先輩バイトしてたの!?
ですか
前からやってるよ
なんだと思ってんだ

え――！
知らなかった…

わざわざ
言うもんでも
ないだろ

そういう
もの？

そーいう
もの

そっか…

もっと

先輩のこと
知りたいなぁ…

って言ったら
迷惑かな…

美味い？
うん!!
もぐ
もぐ
じぃ
どきっ
むぐっ
どうした
バクハツした…
は？
心臓に悪いや……
ぱしゃ
……
あのさ
週末 連れていきたいところがあるんだけど——
？

気持ち
いいねー

ここら辺は
人が少なくて
穴場なんだよ
へえ

よく
来るん
ですか？
たまに
たたた
オシャレー
犬みてえ
先輩って眼鏡
かけるんだ
あっ… ですね
度は入って
ないけどな
ふーん
……
そわ
そわ

「俺は俺の顔が嫌いだし」
なんて言ってたけど

なに
えあっ
いや……
いい

？
したたかというか気丈というか…

先輩って自分の格好よさもしっかり理解してるんだよね…

緊張すると動き回るタイプ
格好よくて落ち着かないや
なんか俺横歩いてていいのかなって
はあ？

お前以外誰が俺の隣歩くの？

わ…

お前以外誰が俺の隣歩くの

わ〜〜っっ

？

こ…

こんなの意識しちゃうよ…

……

あっ
たっ
言ってた
パン屋さんって
ここですか？
…おー
わーっ
オシャレ～！
お腹
ぺこぺこ
だよー！
……
にぎ
にぎ

……
？
頬よ～

お待たせしました
チケット
ん
あっ
すみません
いくらでした!?
いらない
だって昼ごはんも出してもらいましたし…
それ
え?
敬語もいらない
苦手だろ
もう入るぞ
すた
すた
ちょっと
先輩…!
あの…

——この星空の中で
最も親しまれているのが
織姫(おりひめ)と彦星(ひこぼし)で有名な
夏の大三角形です
——…

先輩と会ってから
ドキドキ
しっぱなしだ…
チラ
よく
来るのかな
こういうところ
慣れてる
みたいだし
誰と…
来るんだろ…

——こうして
天の川を隔(へだ)てて
離ればなれに
なってしまった
二人ですが
年に一度しかない
七夕の日だけに
……

デートを
することが
許されたのです
する…
きゅ…
ちら
……

すー…
こっ……
すこー
こいつ…
そりゃ
腹いっぱい
パン食や
そうなるか…
はぁ…

ぱ
さら
まあいっか

……れ
ぱち
純恋
終わった
うそ
すみません!!!
いいよ
良いもん
見れたし
？
ごい
スミマ
セン…
いいって
出るぞ

先輩って星好きなんだ
なんで
良いもの見れたって
……
？
むにっ
そーだな
うわいい
昨日あんま寝てない？
…実は…
今日のこと考えてたらドキドキしちゃって…
はは、お揃いじゃん
お揃い？
クマ隠し用の眼鏡

それって
先輩も
楽しみだった
ってことだよね…
そろそろ
帰るか
っ
……うん
先輩も
俺と同じくらい
ドキドキ
してたのかな
そうじゃなくても
これからドキドキ
させたい――…
先輩…！

あ、
あの
帰る前に
言いたいことが
あるんだけど…
なに
……
あのね
先輩と食べるパンは
いつもより美味し
かったし
プラネタリウム…
……は寝ちゃった
けど…
こういうこと
してもいい
ように……！
こっ
こ
好きな物とか
バイトのこととか
先輩のこと
もっと
知りたいし
また
プラネタリウムで
隣に寝っころ
がったり

俺と付き合って下さい！
はあ!?
ええ!!
だめ!?
いや駄目
ってか…
え――と…
ずる…
俺とお前って
付き……
……
あ――…
先輩…？

……てた……
ボソ…
え？
……
もう
付き合ってる
と思ってた…
そ
付き合おうって
言われてない
……よね…？
わざわざ
言わねえだろ
え～…
先輩の
そういうとこ
好きだけど時々
よくないと思う…
じゃあ
告白の返事は…
いいに
決まってる！
ずいっ
……
自覚はある

その割に
俺ばっかあっぷあっぷ
してる気がする…

ところでさ

ぱっ
ぱっ
ごめんね
ぱっ
俺は別にいいけど
敬語
取れてんじゃん

う〜
も〜
笑
ずるい〜っ
そうだ
俺 お前についてひとつ知ってること あるぜ
…なに？
純恋にとってプラネタリウムは気持ちよく寝られる場所ってこと
そーだ
イジワル…

第3話

それでは
解散

体育祭が
明日に迫った

第3話

5月頭
練習
体育祭
転校
練習
体育祭
6月頭
7月中
俺 かれこれ二ヶ月くらい体育祭の練習してるや…
まずはテントで待機だっけ
あ
先輩だ!
どうしよ…
でも後で会うし
皆の前だと迷惑かな
話しかけていいかな
純恋!
ぴょんっ
!
す
す
過ぎちゃった…
てて。
気付いてないみたいだし。

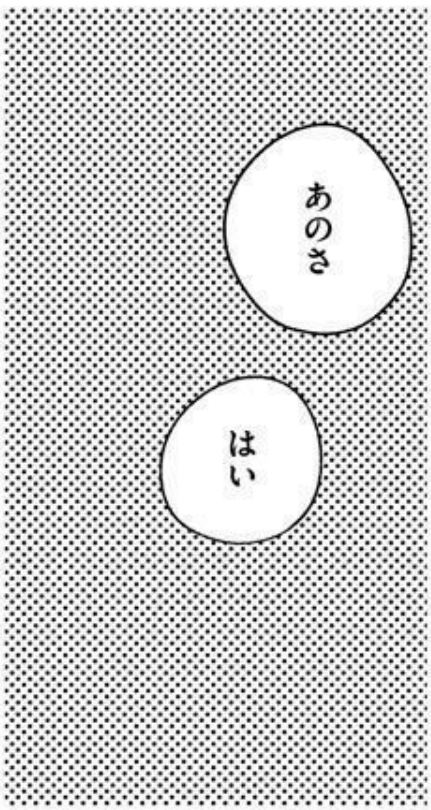
はいっ
おおおお
ぴゅん
ふん
ふん
ぽぽ
お前 頭になに付けてんの
えっ なにか付いてる？
取れてない こっち寄って
はい
ぎゃ
なに!?

後でな
はは
ええ～…
校舎の方…
サボる気だ…
あいつ誰？
ギク…
っ
一年じゃん
マドンナって
笑うんだ…
……
俺 話してるの
初めて見た
31℃…
……
明日何に
出んの

借り物競走と～
棒倒し！
ぽいぽい
先輩は？
100m走
へー、
足速いんだ！

や、
人とごちゃごちゃ
しなくていいから
…ぽいね…

……
……今
めんどくさい
なって思ってる
でしょ
テヘ
あ――……


あのさ
はい

キスしていい？
ツ
ひゃ
!!!
今その話じゃなくない!?!?
ぎゅ〜〜っ
……嫌？
わざわざ聞かれると…
むくり
こないだ自己完結（そーゆーとこ）よくないって言ってただろ
言ったけど…
人来ちゃうかもよ…
明日のやる気
……したらちゃんと体育祭でる…？
うん
……じゃあちょっとだけ…

ちゅ
っ
…っ
すり…
ちゅ
ん…
っ
ぬる…
!!?
ビクッ
ちゅ
わ
わ
ぐっ
どっ
どっ
どっ
ちゅく
ぐっ
べろが…!!

どうしよ
俺…
どうしたら…
あ…
煙草のにおい…
っ
うそ…
勃っ…

いつも昼休みに
居なくなると
思ったら此処に
来てたのか
あぁ
居た居た
頼んでた資料は
どこにある？
すまない
邪魔をしたな
おー
俺の机の中
そうか

ばたん
ガバッ
おっ
……っっ
せんぱい!!
みっ みらっ
見……!!
あいつなら
大丈夫だよ
ガン
ガン
大丈夫って…
友達に
見られても
いいの?
友達…
あー…
みたいな
もんか…
みたいなって…
他に何が
あるんだろう…
優しそうな
人だね
とりあえず
落ちついて
よかった…
ちんこ…
……そうだな
あっ
ていうか
言ったの!?
むちゅ♡
俺らのことは
言ってない
え!?

ちゅ
待って…
ずる…
ちゅ♡
……っ
る…
つ、
付き合ってるって
知らないなら
先輩が好きでもない人と
キスする人だなんて
思われたりしてないかな
先輩
俺は
ん
ふ
先輩が自分を
大事にできない人だ
なんて思われたくない…
ないのに――…
うぅ…
頭が上手く
動かない…

ふ

っ

勃っちゃったの
バレません
ように…

はぁ…
昨日はいろいろと大変だった…
でもなんとかバレずに済んだし――
よぅい
パン
で
出遅れた〜〜〜っっ
かさ
ばっ
キョロ
キョロ
あ
――昨日の人だ…

キマズイし…
別の人…
おずおず
カサッ
…いや…
ぎゅっ
あっ
あの
君野純恋です！
園本部
借り物競争で先輩をお借りしてもいいですか！
先輩のことを訂正するチャンスだ…！
眼鏡

いいよ
ちょっと…！
ぽ
この競技だけだ
俺が戻るまで任せたぞ
すみません…
挨拶が遅れたな
生徒会長の安藤征(あんどうただし)だ
行こう
ありがとうございます
おぁ
おぁ
お、会長様だ
一年に駆り出されてんじゃん
いいぞー
はは
ちょっと
ぐい
うわ

君野くんだったね
昨日 卓と一緒に居た子だ
あ えと… です！
そのことで 先輩にお話があります！
成程
すっ…
え？
じゃあ 急ごう
うわ
しーん

お…
ありがとう
ございます…
先輩
速いですね…
ぜは
1
構わない
俺が居るから
には トップに
なってもらわ
なくては な
はぁ…
ざわ
ざわ
えっと…
で、
話とはなんだ
あ
キョロ
ありがとう
ございます
もらい
ます

耳かして
もらえますか
あの
こそ

先輩は
東城先輩の
友達ですよね
ぼそ
じー
あー…
まあ
そうだな
オモシロイ
先輩はその…
好きじゃない人と
ああいうことは
しませんので…
先輩のこと
誤解しないで
ほしいなって…
え？
成程な
いい子だ

その理屈だと「先輩は俺のことが好きなんです」と俺は宣言されているわけだが

あっ

ホントだ

あの…違くて…違くないんですけど…

……

もしかして俺すごくおせっかいしちゃってるんじゃ…

でも先輩は絶対言い出さないだろうし…

勘違いされたままかもだなんてそんなの悲しい…

まあいい言いたいことは理解した

只な

ちゃ

ぽ

ぽぽ

くる

くる

くる

学校であれは少々まずいな

東城は気付いていないみたいだったが今後は気をつけろ

アレ…ですか…？

？

もしかして…

はっ

……

ぼっ…

バレ…

しおお…

にっ
そこで相談だ
この後
時間は有るか？
……
に…にっ…
……はい…
にこ

ガ—ン
センパイ…

一位の先輩はこちらにお並びください…
1
なにやってんだ
委員じゃなかったよな
この後しばし労働してくれいや別に
無理にとは言わんがいや助かった
一人病欠が出て困っていたんだ
メガネの先輩に…その…おど…頼まれまして…
あぁ…
「優しそう」なだけだったろ
だけって…あの含みはそういう…
〝使えるか使えないか〟で人を判断するから楽でいいんだ
利害の一致でたまにつるんでるだけ
ビジネスライクってやつだあ…
ところで
さっき安藤と何話してたの
1

ぼんっ

えっ

な…

なんでも

ないです…

自惚れ屋だって思われちゃう…

くる

くる

ずざっ

くっ

ドッ

す

体育祭のアレなんだよ
面白くないんだけど
…相変わらず喧嘩っ早いな
うるせえしっかり目ぇ合わせて煽ってただろうが
話の内容は俺にとって面白いんだろ
その気に入らない態度はチャラにしてやるから教えろ

この情報は高いぞ
生徒会資料作成手伝いも乗っける
助かるよ
いい彼氏じゃないか信用しているんだな
……彼氏…
まあな
いやぁ
いい打出の小槌が見つかったなあ
ああ噂をすればだ
せんぱーい
お昼いこー
……
あ…安藤先輩こんにちは
こんにちは君俺のこと苦手だろ
ぎゅっ
どす
ぶっ
いじめんな

その後の純恋①

卓が先日の俺たちの会話内容を聞きたいと
引き換えに「生徒会資料作成手伝い」を持ち掛けてきたがどうする？
え
バラシやがった！
その資料俺が手伝います…！
じゃあ俺は二倍仕事する
じゃあその五倍します！
ぼッ
始まる競り
そうか
では卓に頼もう
何でですか!?
?!

一時間を基準とした時に卓を起用したほうがパフォーマンスが上がるのは君野も解るな？
ぐっ…
はい…
感情と思考を分けて物事を進められる相手との相性の悪さを痛感した瞬間

第4話

純恋さぁ
夏休み
なにすんの？
おじいちゃん
家に行くよ
福岡だっけ
すごい！
よく覚えてるね

結構長い？
二週間くらい
かな
帰ってきたら
遊ぼうよ！
じゃあさ
夏休み
うち来ねえ？

不良のドラマ見たいって言ってたろ
親が実家に帰るから家にひとりになるんだよ
嫌ならいんだけど
すごい顔したな
え
お…
お父さんとお母さん居ないの…
ぽぁ〜〜っっ
そっか…居ないんだ…
先輩がいいなら…行こうかな…
いいから誘ってる
だよね…
先輩の実家ってどこ？
イタリア
へー遠いん
イタリア!?

どうりで…
先輩って
カッコイイ…
そりゃ
どうも
そろそろ五限だな
授業でるんだろ
むく
でるよ！
ぱっ
ぱっ
やっぱりここだと
埃ついちゃう
ね――…

ピク
っ
ぬる
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅく
ちゅく

ぷは
二週間分補充した
にっ
行こうぜ
あっ…
さ
さ、先に行ってて
……
ん、じゃあな
うん

とん
とん
とん
とん
はー…
とん…
体もたない
よ…
はー…

……
勃ってた…
よな…
そうか…
よかった…
純恋はちゃんと
俺に――…

純恋が俺から
離れていくほうがよっぽど――…

キョロ
キョロ
先輩っぽい…！
そう？散らかってて悪いな
えっ
これで…!?
そわ
いつも先輩からするいい匂い
ペカー
プラネタリウムの券だ…！
……
何してんだ早く座れ
そこのクッション使って
すぐ捨てたとっておくという考えがなかった
うん…
ドラマ結構長いんだよな
もう流していいか？
うん
みたいみたい！
ギしっ
どき

近い…
近い…!!
合わなかったら
止めるから
言えよ
あ、
はい！
うん！
変な返事
はいうん
だって
そわ
そわ
もぞ
もぞ
むう

だらん
人をダメにするソファ
百面相どうした
ダメになりながらそわそわしてる…
だる
集中できないよ〜
……
そわ
なぁ
じいちゃん家楽しかった？
あ、
うん
どっか行った？
クラスの皆で海とか行ったよ！
もっちゃんと映画行ってね
もっちゃん？
よく遊んでた子！写真見る？
見る

あと
ケっ
んん
…あのさ
もしかして喉の
調子わるい？
夏風邪とかなら
無理しなくても
ずいっ
大丈夫！
多分声変わり
だと思う
俺まだ声が
安定してない
みたいで
今日は声が
出にくい日
みたい
……
……なあ
ちょっと
立ってみて
ギっ
？

俺の
知らない純恋がまだ沢山あって
……やっぱり
そうかな…
そうかも…
じゃあさ
広がっていく世界の中で
純恋はいつまで俺を――…
これから先もっと増えていく
来年には追い越されるかも
背伸びたよな
おしまい

こんな感じかな
へへ
楽しみだな
俺きっと
このくらい
おっきくなるよ
そしたらもっと
先輩に近づけるね

でも膝枕で
いつも上から
見てるし
思ったより
新鮮じゃない
かも…
っ

ぐ
わっ わ ごめん…！
そんな つもりじゃ…!!
がば
待って
ぎゅ…

……
……
ちゅ
ちう
!?!?
ばっ
せっ
せっ
せっ
手…ッッッ
ぐぃ

あのさ…
今
もっとお前に触ってみたい…んだけど…
……っ
俺も
……っ
先輩に触ってみたい……！
…いいよ
さわって

いい？
触るよ…
そろ…
ひた
ぴく
くち
くち
…っはぁ
しんけん
くち
ふん
くち
ふん
ふに
すごい顔…

ふー
ふー
ちら
ふっ…
ふぅ
くち
どき
わ
ちゅく
どく
どく
先輩も
こんな顔するんだ…
俺でこうなってるんだよね…
もっと
もっと先輩に触りたい
すりっ

ん…
せんぱい
ぽす
ガバッ
もう…
やばいかも…
純恋…
ぎょっ
純恋
お前…
え？

たらー
つぎー
ぽたた
先輩服…!!ごめん…!!
え
えっ 血
俺!?!
がばっ
いやいいから!まず拭け!

水持ってくるから
ティッシュ鼻に
当てとけ

えっ

上向いて
鼻血止めるは
迷信だからな！

がちゃ

ぽっん…

ぽたぽたぽた

焦って純恋に
負担かけて
馬鹿か俺は

それなのに

ぼす

あんな声聴いたら
あんな顔見ちゃったら
この先
我慢できるか
わかんねえ…
ナマゴロシだ…

その後の純恋②

え
出してねえの
水を置いて15分程部屋から出てた
モゾ…
だって…
先輩心配して水取りに行ってくれたのに
俺だけ…だ、出すのって…ズルい気がして…
自分はしっかり出してきた
(純恋を思い返しながら)
と言い出せなくなった
トイレ連れてってやるから…立てるか？
しおぉ…
うぅ…すみません…
いいって
モゾ
そして青少年 純恋は先輩への誠意と引き換えに人の家のトイレで射精したという罪悪感を抱えることになる

君野

第5話

安藤先輩
こんにちは
ああ
今日(こんにち)は

えっと…

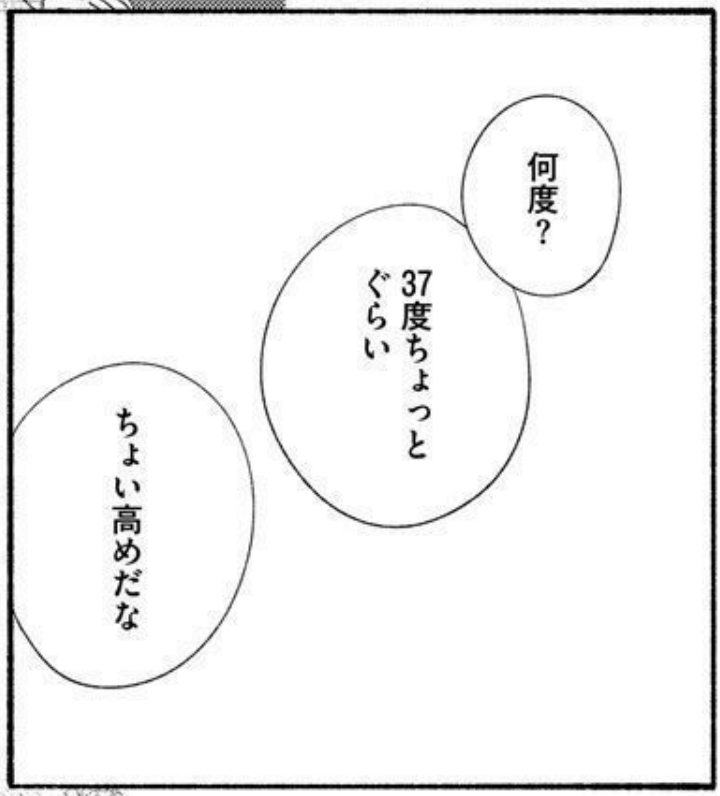
ああ悪い
卓は居ないんだ
あっ
すみません
判りやすくて宜しい

よろ…
日曜日は何処かへ
遊びに出かけたのか？
え？

丁度休日と重なっていただろう
……？
日曜日何かありましたっけ
……そうだな…
いずれ分かることだろうし伝えておこう
……
すまない失言だったようだ
八日は卓の誕生日だったんだ

第5話

わざわざ
ありがとうね
いえ
突然お邪魔して
すみません
いいんだよ
多分起きてると
思うよ
はい
とん
とん
とん
コン
コン
ガチャ
純恋
先輩！
ガバッ
起きなくて
いい
わっ
大丈夫 もう
熱は下がったよ！



あの日――…

鼻血を出した日から
いいところがない

あの後誘った
デートは大雨で
どこにも行けなかったし

ザー

帰るか

はい…

合唱コンクールが
始まってお昼も
なかなか一緒に
食べられなかったし

お昼も練習

なにより
先輩も気を使って
くれてるのか
キスより先は
できてない

べ…べろのやつも…

受験勉強で忙しい中
わざわざ時間つくって
もらったのに
風邪ひいちゃうし…

今日は絶対に
外したく
なかったのになあ

……

先輩…
あの…

遅れちゃった
けど…

誕生日
おめでとう
ございます

……言ってたっけ
安藤先輩からきいて…
ああ…
ありがとう開けていい？
うん！
うん…
嬉しい…
……なあ
気に入るといいんだけど…

純恋がつけてよ
ええ
でも俺ピアスなんてつけたこと…
大丈夫簡単だから
お願い
……
い…痛かったら言ってね
ん

ぽす
どう？
カチ
できた!!
はは
ありがと
かっこいい！

かっこよくて…
……ズルいや…

…ズルい？
俺はいつも
かっこ悪いところ
ばっかだから…

今日だけ
じゃなくて
先輩の家に
行った日もだし…
今日は俺がリード
したかったん
だけど…

……

…俺の方こそ
ごめん…

お前はいつも
格好いいよ
すぃ
ええ…？

その…
夏のさ…
焦ってて
ちょっと
強引だった
…焦るって？
……純恋は
男が好きなわけ
じゃないし
いつ〝やっぱり無理〟
って言われるん
だろうかって
考えがずっと在って
半分本心
半分強がり
好きになったのも
俺からだろ
――半分

どうせダメに
なるならもっと
好きになる前に
……って
あの時だけ
じゃなくて
好きになってから
ずっとお前のこと
純恋と触れ合うのが
どこまで怖くないのか
自分自身も
試してた
悪い
病み上がりの
お前にする話じゃ
ないよな
いたい
いたい
どうした
ぎゅうう
うう
うう

あのね
俺は
先輩のことが
好きだよ！
確かに俺には
刺激が…その…
強かったけど…
……
自分の為に
強くなろうって
頑張ってるところも
まっすぐな
性格も
全部
かっこよくって
尊敬してる

…でも
一個だけ
不満あるや…
……なに
もっと
何考えてるか
話してほしい
ごめんね
多分俺は
人より鈍いから
先輩がそんなこと
考えてたなんて
全然分かって
なかったし
だから
先輩の
嬉しいも
楽しいも
…怖いも
俺に教えてよ

……じゃあさ
安藤のことも
先輩って
呼んでんじゃん
あれ
……
面白くない
ぼそ
……？
えっと…
安藤と一緒じゃ
ヤダっつってんの
あっ…
……
お前もしかして
俺の名前知らな、
知ってる!!
卓!!

……先輩…
うん
卓さん…
うん
先輩って
余裕があって
大人っぽいと
思ってたけど
かわいい

先輩
かわいいね
前よりずっと
近くに居るなって
感じがする
風邪ひいてるのに
キスしちゃ……ッッ
……
ふい
あっ
別にいいよ
離れんな！
だって…
おずおず
かっこいい〜〜
ちゅ

柄にもないことしたら腹へった
帰る
今!?
あんま長居してもな
このまま居ると我慢できそうにないし
が…
ぼっ
あっ
じゃあ玄関まで
馬鹿
ぎゃっ
いいからおとなしく寝てろ
うん…

ピアス
ありがとな
大事にする
え…？
どうした
はっ
あっ…
ううん

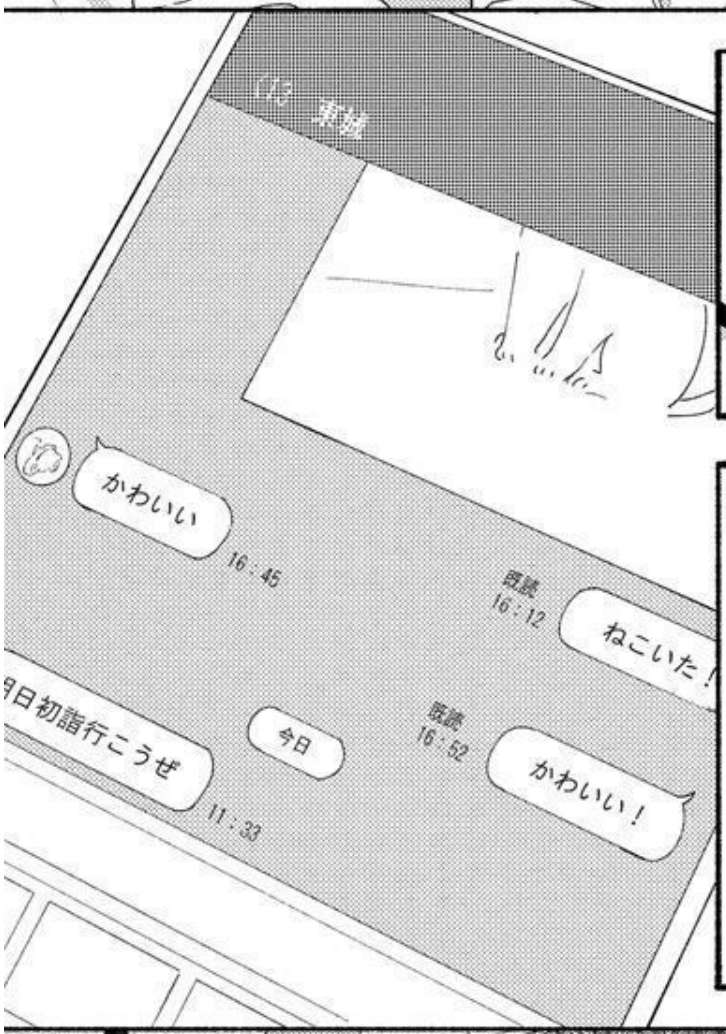
無理させて悪い
じゃあな
あ、ありがとう…！
……
京都(きょうと)って…
書いてあったよね…
先輩遠くに行っちゃうの…？

東京

京都

片道
二時間十五分

第6話



おみくじ結び所
おみ
……

先輩が
隣に居ないって
どんな感じ
なんだろう

今までと違いすぎて
まだちゃんと
実感できないけど
多分
思ってるより
すっと寂しいよね…
よし
行くか
うん
先輩はなんで
言ってくれ
ないんだろ…

なんか
お願いした？
えーっとね…
ないしょ
ちょっと
待ってて
？
ほら
なんか元気
ねえじゃん
たこ焼き
食って
元気出せ

……
……

俺がこんな
頼りないから

先輩に言いづらく
させちゃってる
のかも

先輩の負担に
なりたくない……！

ありがとう
ちょっと
待ってね

ごそ

ごそ

これ貰って
ください

俺
バイト
するよ

先輩が遠くに
行っても会いに
行けるように

えーっと……
その顔なに
泣かないように力入れてる！
成程…？
先輩のやりたいこと応援するからね…！
じゃあ遠くに行くってなに
たかが卒業だろ
たかがじゃないよ…
先輩 京都の大学に行くんでしょ
いや行かねえけど

……え？
なんで俺京都行くの？
だってオープンキャンパスの資料持ってたよね…
先生に渡されたり
そりゃ持ってるだろ
行くかどうかは別
……たしかに…
あー
いや
ごめん
そういや何処行くとか言ってなかったよな
東京の大学だよ
全然近くだから
な…

なんだあ～～～～～～～～～～
へな
へな
～～～～～～～～～～……
俺てっきり…
会えなく
なっちゃうのかと…
早とちり…
も――……
なんだあ…
そっかあ…
それで
思いつめた顔
してたのか
先輩とずっと
一緒に居たいって
お願いしたんだ
ウソついて
ごめんね
お願いごとって
人に言ったら叶わなく
なるって聞いたこと
あったから…
ああ
言っちゃった…
…ほんとはね

いいよ
俺が
叶えるから
せっ……!!
んぱい……!
外だよ…
こんくらいなら
俺の見た目で
海外流スキンシップ
と思ってくれんだろ
え〜〜〜〜〜…
すごい
見られてる…
あと
じゃまに
なっちゃうよ…

これは
もらっとく

明日だね
もう一緒に昼
食べらんねえな

……
お前 一緒に昼食べられる友達いんの
いるよ…！
知ってる
純恋は人に好かれるもん
卓さん
……
ん？

好きだよ
ぎゅ…
きょ…
今日…っ

先輩と最後までしたい…！
!!
ﾌｧ

なんで笑うの！
ちゃんと合意とんだもん
ぱぱ、ごめん、だって
純恋らしいのが嬉しくって

もっとスマートにカッコよくなる予定だったのに…
むう
むに
むに
ごめんって

また鼻血出さねえ？
あれから沢山イメトレしたから大丈夫‼
たぶん…
イメトレ…

できてないならすぐには無理だな
そうなんだ…

準備してる？
準備がいるなってのはなんとなく分かるんだけど…
どうしたらいいのかな

あっ
じゃあ
今から――っ
ぱっ
――…っ
うそ
そうかなって
思ってたから…
もうやってある
――…っ

ん
苦しそう…
先輩
お、俺にやらせて
そろ…

ごめん
痛かった…!?
止めんな
そこ…
多分そこ
さわったら
いれやすく
なると思う…
……っ

ぐに
う
…っ
ふに
んんッ
ぴく
…っ
すっ
みれ…
純恋…
もういい

いれて
うん…っ
ブルブル
どっち？
ふぅふぅ
いっ
痛かったら言ってね…

ぎし…
ぐっ…
ーーッ
ぎっ
う
ぐ…
あ
ぐ…
ぎ
ふー…
ち…
ふー…
ずっ
お
っ
ぐぐ…
ララ…

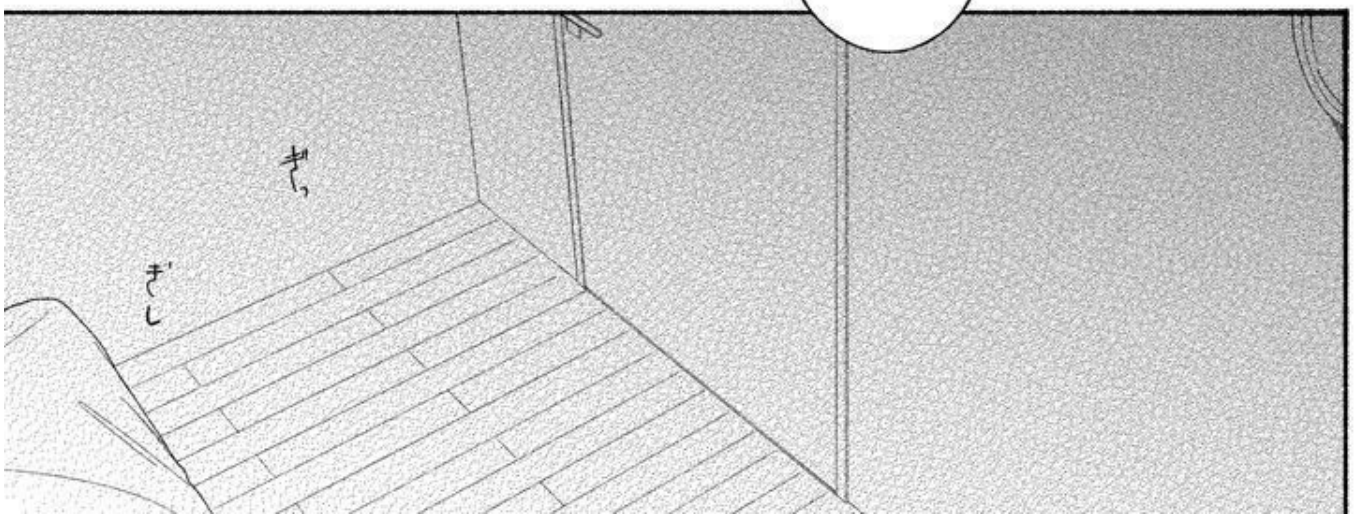
……？
止まった…？
純恋…？
ビクッ
ふ――…
ふ――…
あ…
あんまり
見ないで…
俺 多分今
ふぅ…
怖い顔
してるから…
怖がらせ
ちゃう
……
ぽた
そんな
苦しそうな顔
してまで
こんな時でも
大事にしてくれんの…
……やだ

こっち見て
顔見たい
その顔が
見たい
純恋を
好きになって
よかった

好きになってくれて
ありがとう

大丈夫だから

動いて



頭爆発しそう…
つは…
俺も…
先輩
すき
うん
すき
うん

先輩
卒業せんでよ…
……うん

——次の日

先輩は
あっけなく
卒業していった

あれから先輩は
大学が忙しいみたいで

なかなか
会えない…

という
こともなく
毎週末会ってる
えっち思い出し照れ中
今日ドラマの続きみようぜ
そだね…
服着てきたんだ
似合ってる
うん！
誕生日（4/1）に卓からもらった
誕生日といえば
そういえば俺さ
実は自分の誕生日ってあんまり好きじゃなかったんだよね
なんで
くえ。
早生まれの最後の日に生まれたから
ぱく
みんなより体ちっさいし
あと一日遅く生まれてたら学年で一番の誕生日なのにって
ああ…
うまい？
うん！
けど
やっぱ早生まれでよかったや
あと一日遅かったら先輩に出会えてなかったもんね

そっか
にっこ
にっこ
なんか今日ごきげんだね
いいことあった？
あった
なになに？
好きだなーって見てた
ひゃっ
なんかもうすげー可愛いし俺が抱いちゃおうかな
だっ
……!!!

せっせっせっ
んぱいっっ
それはっ
そのっ
どういう
……!!
ちゅう
ぎゅっ
はは
あっ
笑…!!
ほんと
いちいち
可愛いな
から
からかって
楽しんでるんだ
もう…
なんで?
俺はいつでも
大真面目に
純恋が好きだよ
それはそれは
美しく、
……
知ってる…
だろ
清らかで、
孤高と云われた

男子校のマドンナで

メデューサで

俺のことが
大好きなこの人に

俺は一生
振り回されるんだと思う

きみの春花（すみれ）／END

一人で完結する悪い癖が凄い方向に出てしまった回

男同士のいれられる方って
こんな大変なのか…

近いうち
そういうことに
なるかもしれない
と調べた

というか
俺と純恋って
どっちがどっちに
なるんだ

そもそも純恋に
いれられる側になる
っていう想定自体
浮かんでなさそう

大正解

番外編① 3話のあと

ふ…

……よし…

やるか…！

その後三度目の正直に
なるともつゆ知らず
三月に至るまで数回
会う前に準備をして
出かけるが

全くそういう雰囲気に
ならず普通に
帰宅することになる

二年後かな

番外編② 最終話のあと

?

なにが

純恋を抱くの

!!

本気だったんだ…

えーー…

純恋が今の俺と同い年になった時とかどう?

考えときます…

時限爆弾を抱えた

にぬん…

もんもん

かわいい顔してる

立てば芍薬

座れば牡丹

歩く姿は百合の花

番外編③ 安藤という男

なんて言われてるのを聞いた時はさすがに大笑いしたな
うそつけお前の大笑いなんて見たことねえ

先輩それもほっといてるんだ…
当たり前だろ
くっつきすぎだな

ああいうのは俺に興味があるんじゃなくて
何かに熱をあげたいところにたまたま俺が居たから囃してるだけなんだよ
それって順番が逆になることってあるの？

往々にしてあるな

人間は的があれば何かを命中させたくなるものだ

……

もしかして安藤先輩も昔なにか…とか考えてるだろ

こいつの人生順風満帆だぜ

大学病院院長の息子で次男だから家もつがなくていい

むう…

もてあそばれてる…

ははは

君野はからかいがいがあるな

お前の冗談は悪質なんだよ

まぁ卓はどちらかといえば立てば喧嘩

※日く正当防衛（過剰）

ぎゃ

去れっ

ち限出る？

キスしてくれたら

ぞっ

座ればだだっこ

歩く姿はモーセの海割りってとこだろう

マドンナと生徒会長だ

歩くのに便利だな卓

ざっ…

マドンナ歩くのか…

歩くわ

たしかに…

まあ漢方薬の方面での意味合いなら先の言い分も納得だな

お前とは一度喧嘩しとくべきだと思ってたんだ

すっ…

すっ…

そうか喧嘩をしたことはないが多分俺が勝つ

どっからくるんだよその自信は…

なるほど…

ケンカダメ!!

冗談だよ

冗談だ

……

「立てば　座れば　漢方」で調べてみてね

END

「読み切りなので作画コスト振り切ります」と読み切りを描かせていただいたのがすべての始まりでした。
まさか連載させていただけることになるとは。

一話　出会ったのは、気高く清澄な――美しい男。
二話　君といるだけで何気ない日常が色づきはじめる――
三話　大好きな人だから、ゆっくり大切に向き合いたい。
四話　いつからか、目で追うことが当たり前になった――
五話　高校1年生、冬。時間はゆっくりと、確実に過ぎていく――
六話　きみとなら向かい風でも大丈夫――

雑誌掲載時に担当さんが考えてくださった煽りです。大好き。
「エロはなくてもいい、大きな事件も起こらない、二人の恋愛のステップアップが描きたいです」というふんわりとしたプレゼンにOKを出してくださり、好きなものを自由に描かせてくださった担当さんには本当に頭があがりません。
恐れ多くもカバーのデザインにもあれこれ口を出し、デザイナーさんにもたくさん力をかしていただきました。
ありがとうございます。

ありのままの二人を見てもらえたらという思いがあり、担当さんも汲み取ってくださり雑誌の段階から受攻表記なしでここまで描かせてもらいました。
一旦は落ち着くところに落ち着きましたが、こんな二人ですので今後受攻どうするというところも含めなんでも話し合って納得して決めていくんだろうなと思います。

雑誌掲載時から読んでくださっていた方、
表記もない漫画を手に取ってくださった方、
担当さん、デザイナーさん、編集部の皆様、
友人、
携わってくださったすべての方に
感謝を込めて。

ありがとうございます

純恋
先輩！
えっバイクだ
カッコいい！
もう帰んだろ
乗せてって
やるよ
いいの!?
乗りたい！
2年に
なった↓
安いバイクなのに
なんであんな
様になるんだよ
あいつが噂の
マドンナの最屓…
ざわ…
思った通り
似合う
とうかな
自転車通学の
中学生みたい
かわいい
足あまり
すぎだろ
そしてまた一躍
時の人となる純恋

ズ
純恋！
カッコいー！
どうしたの
この車！
卒業祝いに
おじさんに
貰った
乗る？
乗る！
※カスタム済
翌日
お前すごいよ…
どうしたの
急に
なんだあの
カッケー車
うしろに
ハシゴ付いてたぞ
マドンナこないだは
安いバイクに乗って
なかった？
バイクはあれが
乗りやすくて
好きなんだって
小山田

きみの春花（すみれ）

有馬 嵐

©ARASHI ARIMA 2020

初版発行日：2020年11月20日
発行・制作：株式会社フロンティアワークス

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などに一切関係ありません。本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製、転載、放送などは著作権法上での例外を除き禁じられています。